

様式第2 (第8条関係)

事業計画書①

(つつじ補助金・くすのき補助金)

事業の区分 (該当する事業をチェック☑)	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(11) 国際協力を行う事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(2) 社会教育の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(3) まちづくりの推進を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(13) 子どもの健全育成を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>																																					
	(4) 観光の振興を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(14) 情報化社会の発展を図る事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(15) 科学技術の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(16) 経済活動の活性化を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>																																					
	(7) 環境の保全を図る事業	<input type="checkbox"/>	(17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(8) 災害救済事業	<input type="checkbox"/>	(18) 消費者の保護を図る事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(9) 地域安全事業	<input type="checkbox"/>	(19) 営利社会貢献団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業	<input type="checkbox"/>																																					
	(10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(20) 前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県の条例で定める事業	<input type="checkbox"/>																																					
①現状把握・分析 事業目的 事業実施の理由、 地域課題の解決に つながる事業の目的 <b>必要性</b>	<p>文部科学省による「新体力テスト」では愛知県中学生男女ともに、47都道府県中47番目(令和5年度時点分析結果)という現状が未だにある。又、運動やスポーツが好きの割合が他県に比べて明らかに低い。多くの団体が様々な側面から運動の重要性に関する啓発・普及活動を行っているが、子どもたちの体力低下、運動ばなれに歯止めがかからない状況である。日常的なスポーツ活動と基礎的な動き作りや食育から見直し継続的に取り組むことにより、体力、体格そして基礎技能の改善をはかる。また、豊橋市の行政に関わる職員や、運動・スポーツと密接に関わる企業や人材の育成を目指すことにより、地域の運動に対する意識を高め、若年層のスポーツ活動のみならず、高齢者の介護予防等につなげることを狙いとしている。そして、その成果を定期的に他県スポーツ団体と比較するために全国各地のスポーツ活動団体を招致し、青少年、指導者共に取り組んできた成果や課題を洗い出しPDCAサイクルによる活動改善には必須の機会ととらえる。</p>																																								
<b>実効性</b>	②事業の具体的な内容	<p>全国各地からサッカーチームを招致(昨年度、東は仙台、西は北九州まで全国各地18チーム、延べ360名参加)し、主に豊橋市内の公共グラウンド施設を使用し交流試合を行う。加えて、上級審判員によるサッカー審判講習会、専門性のあるスポーツ店による運動に適したウェア選び講習会、愛知県国スポトレーナーによる基礎的な動き作り・ストレッチ講習会、管理栄養士による父母対象の食育講座を企画する。宿泊は豊橋市内の施設を広く利用し、他の機会にも繰り返しリピートしてもらえるよう広報をはかる。また、昼食発注による地元店舗商店への貢献は4日間で700超えの売り上げが見込まれるばかりではなく、スポーツイベントへの給食のノウハウや、食物アレルギーへの対応力の改善などにまで及び、豊橋産の食材を用いた食事の提供を通じて、食文化のPRが広く行われる。豊橋市の産業や文化を事業を通じてアピールすることで、まちづくりの推進が強く推し進められる。</p>																																							
	③スケジュール 実施予定期間の始期から最終日まで	<p>実施予定期間 令和7年9月15日から令和7年12月29日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予定日</th> <th>予定内容</th> <th>予定会場</th> <th>参加者数見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月中旬</td> <td>参加チーム募集</td> <td>メール・SNS等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月末</td> <td>募集締め切り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>宿泊施設・昼食発注等 手配</td> <td>法人事務所</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>12月中旬</td> <td>最終打ち合わせ</td> <td>法人事務所</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>12月25日</td> <td>カーニバル開催</td> <td>豊橋総合スポーツ公園</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>26日</td> <td>↓・監督会議</td> <td>サッカー場</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27日</td> <td>↓</td> <td>カモメ広場等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28日</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29日</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込	9月中旬	参加チーム募集	メール・SNS等		10月末	募集締め切り			11月	宿泊施設・昼食発注等 手配	法人事務所	4名	12月中旬	最終打ち合わせ	法人事務所	4名	12月25日	カーニバル開催	豊橋総合スポーツ公園	400名	26日	↓・監督会議	サッカー場		27日	↓	カモメ広場等		28日	↓			29日	↓	
予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込																																						
9月中旬	参加チーム募集	メール・SNS等																																							
10月末	募集締め切り																																								
11月	宿泊施設・昼食発注等 手配	法人事務所	4名																																						
12月中旬	最終打ち合わせ	法人事務所	4名																																						
12月25日	カーニバル開催	豊橋総合スポーツ公園	400名																																						
26日	↓・監督会議	サッカー場																																							
27日	↓	カモメ広場等																																							
28日	↓																																								
29日	↓																																								
④実施体制 (実施メンバー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人 グラスルーツとよはし</li> <li>セントラル豊橋FC 父母会</li> </ul>																																								

事業計画書②

(つつじ補助金・くすのき補助金)

<p>⑤この事業が公共の利益に寄与すると考える理由とこの事業を実施することでの市民(地域)への波及効果</p> <p><u>公益性・実効性</u></p>	<p>交流試合を行うだけでなく、豊橋市内の中学部活動にも声かけを行い、希望するチームに、サッカー審判講習会、専門性のあるスポーツ店による運動に適したウェア選び講習会、基礎的な動き作り・ストレッチ講習会、管理栄養士による父母対象の食育講座に参加してもらうことで、専門家から直接学ぶ機会を設けていく。このことを通じて、スポーツを「する」側面だけでなく、「知る」「支える」面へのアプローチを行っていく。スポーツを「する」ことで生活ができるのは、限られた一部の人間のみである。実際には審判・指導者・食事・栄養・運営など様々な側面から支えられることで、スポーツは成り立っている。多くの団体が行っている既存の人材による短期での市民(地域)への公益性を求める活動ではなく、中学生年代に種をまき、15年後や30年後に市民(地域)を「支える」人材の育成を日指し、子どもたちがスポーツと関わる企業・職について「知る」きっかけづくりを行う。</p>
<p>⑥この事業実施後の今後の活動について</p> <p><u>継続性</u></p>	<p>今事業を冬場に開催している理由の1つに、積雪に伴い活動に制限のかかる都道府県が少なくない中、豊橋市は雪の影響を受けずに活動を行える地域である。一方で、夏場は地球温暖化による異常気象が進み、猛暑下でのスポーツは危険と隣り合わせである。熱中症を防ぐ方策のみならず、涼をとりながらの活動する場所・施策についても発展解消を考えていく。</p> <p>今後、絶対的に少子化がすすむ中で、スポーツを親しむ子どもたちは限られてくることも予想される。この事業に参加した子どもたちへスポーツと関わる職の紹介など、スポーツと企業のつなぎ役を担っていきたい。サッカーに限らず、他種目、他競技、他分野へも活動範囲を広げ、具体的な活動戦略を立てることは必須である。多岐にわたる範囲へ拡大することは当組織の公益性を高めていくうえでも重要な要素と考えている。</p> <p>また、行政と協働し友好・姉妹都市である海外の団体を招致し、若い年代から国際的な視野を意識できる人材の育成ができればと考える。</p>

(くすのき補助金)

<p>⑦この事業の創造的又は開拓的である部分</p> <p><u>先駆性</u></p>	<p>数チーム同士の交流試合から始まり、全国各地から(東は仙台、西は北九州まで全国各地18チーム、延べ360名参加)する大会へと発展し続けている。サッカー協会が多くの啓発・普及活動を行っているが、より身近な人や場所で経験することができる+</p>
<p>⑧この事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p><u>専門性</u></p>	<p>αの機会として30年前から今日のような活動を地道に行ってきた。その成果がOBの上級審判、トレーナー、管理栄養士などの各分野におけるスペシャリスト育成へとつながった。このような専門の方々が身近にいて、サポートいただける環境があることが、私どもの団体にとって大変心強い特徴であると考えている。</p>

備考 内容の記載は簡潔にお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。